

Tateyama Impulse 隊員のしおり

このしおりは、Tateyama Impulse 隊員としての任務遂行上必要な事項が記載されています。
隊員は内容を熟読し、理解した上で展示飛行に望んで下さい。

スケジュール

8月2日(土)

- 06:00 富山側集合時間(場所はテクノホール横の駐車場))
- 06:20 高岡側集合時間(場所))
- 07:30 現地集合時間(受付開始時刻)
- 07:35 総員集合・点呼(集金・受付等 担当:藤野) 宿泊¥1,500 パ¥2,000
- 07:40 受付手続き(大会受付実施 担当:藤野)
- 07:50 機体点検及び運搬(トラックでテイクオフへ運搬 担当:小林、塚本、早風)
- 08:00 総員テイクオフへ移動(ゴンドラで各自移動、装備等は各自で運搬)
- 08:30 ブリーフィング(山頂本部横広場集合)
個人装備配布、装備点検、スケジュール確認、他
以後は自由時間(ただし、連絡がつくようにすること) -
- 09:50 総員制服で集合
- 10:00 開会式
- 以後は自由時間(ただし、連絡がつくようにすること) -
- 演技開始 30 分前
総員集合 最終ブリーフィング
演技手順の確認、装備最終点検、機体点検、演技課目決定
- 演技開始 15 分前
クルーは機体をテイクオフへ運搬、セットアップ準備
- 演技開始 10 分前
クルーは機体をセットアップ
パイロットは機体のセット状況を確認すること
- 演技開始 5 分前
総員配置に付く
- 演技開始
訓練どおりに任務を遂行しましょう
- 演技終了
クルーは再度本部横に集合しブリーフィング
その後はタイミングを見てフリーフライト
フリーフライト後は宿等へ移動。連絡がつくようにしておくこと

8月3日(日)

08:00 大会本部前に集合(受付)

日曜のみ参加者の確認をします

08:30 各自ゴンドラでテイクオフへ移動

09:00 ブリーフィング(山頂本部横広場集合)

個人装備配布、装備点検、スケジュール確認、他

以後は自由時間(ただし、連絡がつくようにすること) -

演技開始 30 分前

総員集合 最終ブリーフィング

演技手順の確認、装備最終点検、機体点検、演技課目決定

演技開始 15 分前

クルーは機体をテイクオフへ運搬、セットアップ準備

演技開始 10 分前

クルーは機体をセットアップ

パイロットは機体のセット状況を確認すること

演技開始 5 分前

総員配置に付く

演技開始

訓練どおりに任務を遂行しましょう

演技終了

クルーは再度本部テント横に集合しブリーフィング

その後はタイミングを見てフリーフライト

15:45 ブリーフィング(パーク獅子吼前に集合)

閉会式の最終確認、並び順確認、手順確認

16:00 閉会式

17:00 終了・解散

小林・藤野はトラックで機体をスクールへ運搬

個人装備（パイロット）

制服一式、靴（フライト用のもの）、手袋（フライト用のもの）、サングラス（フライト用のもの）、特定省電力無線機、イヤホン、アマチュア無線機、バリオ等フライト機材、携帯電話、他

個人装備（クルー）

制服一式、靴（フライト用のもの）、手袋（白手及びフライト用のもの）、サングラス（フライト用のもの）、特定省電力無線機、イヤホン、アマチュア無線機、フライト機材、携帯電話、他

クルーは、制服の下に白（無地）のシャツを着用のこと

白手袋は貸与します

藤野はこれにインカム、双眼鏡を持参

その他装備・備品一覧（全体管理品）

機体（T-4）×3 機体（ZOOM）×3 ヘルメット×3 以上機体に備え付ける
スモーク用紙テープ（太）×10本 白色ガムテープ×2 青色ガムテープ×2
黒色ガムテープ×1 灰色ビニールテープ×1 セロテープ×1
ハサミ×1 カッター×1 ダンボール適量（修理用）他修理に必要な資材一式
特定省電力無線機×10 無線用電池（単三）×40 白手袋×10組 ボンド×1
BGM用CD video カメラ×1 video テープ×2

上記備品は基本的にトラックに積載・保管

隊員名簿（個人情報につき取り扱い注意）

氏名 (携帯番号)	役割	装備	2 日	3 日	パーティー	宿泊
塚本 隆暢 ()	1 番機 PILOT	特小、イヤホン				
小林 一郎 ()	2 番機 PILOT	特小、イヤホン				
早風 慎也 ()	3 番機 PILOT	特小、イヤホン				
東 直 ()	1 番機付長	特小、イヤホン、白手袋				
渡辺 祐子 ()	1 番機付	特小、イヤホン、白手袋				
平田 法行 ()	2 番機付長 1	特小、イヤホン、白手袋				
堀田 淳 ()	2 番機付長 2	特小、イヤホン、白手袋				
山本 潤 ()	2 番機付	特小、イヤホン、白手袋				
清水 清一 ()	3 番機付長	特小、イヤホン、白手袋				
中村 稲夫 ()	3 番機付	特小、白手袋				
藤野 光一 ()	統括・MC	特小、白手袋				
森岡 学 ()	司令	白手袋				
米倉 和子	WAF	肩章、名札				
松村 良子	WAF	肩章、名札				
渡辺 祐二	撮影班					
永川 芳仁	撮影班					

DOLPHIN FLYER

パイロットの任務

パイロットは展示飛行に際し、Tateyama Impulse としての自覚と誇りを持ち、訓練の成果を安全且つ正確に披露することを任務とする。制服着用時は隊員としてふさわしい行動を心がけること。

プレフライトチェック

パイロットは、フライト前にプレフライトチェックを行うこと
チェックリスト

- 機体（ZOOM）のセットアップ状況及びラインチェック
- カラビナ接続状況チェック
- スモークシステムチャック
- 全体チェック（不具合がないかを見渡す）

ビフォアテイクオフチェック

パイロットは、機体搭乗後にクルーと協力してビフォアテイクオフチェックを行うこと
チェックリスト

- ハーネスセット状況（レッグベルト、チェストベルト）
- ヘルメット及び酸素マスクセット（ホースのハーネスへの装着チェック）
- サングラスでの視界チェック
- 無線チェック
- 風向・風速チェック

アフターテイクオフチェック

パイロットは、テイクオフ直後にアフターテイクオフチェックを行うこと
チェックリスト

- 安全確認
- トリム解放
- フットバー
- シートに座る

飛行演技課目（基本課目）

- デルタテイクオフ
- スモーク放出
- 2 ポイントターン
- アウトブレイクターン
- デルタ編隊でランディング上空をフライパス

ビフォアランディングチェック

- パイロットは、ランディング前にビフォアランディングチェックを行うこと
- チェックリスト
 - 安全確認
 - トリム作動による機首上げ
 - ランディング姿勢

アフターランディングチェック

- パイロットは、ランディング後にアフターランディングチェックを行うこと
- チェックリスト
 - ランディング報告（特小無線、通じない場合は携帯電話）
 - スモークテープ回収
 - 航行灯消灯
 - 機体（T-4）点検
 - 機体（ZOOM）収納
 - 装備点検

DOLPHIN KEEPER

クルーの任務

クルーは展示飛行に際し、Tateyama Impulse としての自覚と誇りを持ち、パイロットが安全且つ確実に演技するためのサポートを任務とする。制服着用時は隊員としてふさわしい行動を心がけること。

事前整備

クルーは、事前に機体の整備と点検を行うこと

チェックリスト

外観の確認および点検（破損・不良箇所の確認）

スモーク機構の作動チェック（ピンを抜いて動作確認）

スモーク用紙テープのセット（テープ端 30cm くらいまでセロテープで補強し、補強部分を機体本体にガムテープで固定）

航行灯の点灯確認

装備品の確認

ヘルメット、酸素マスク、バリオ等計器など

離陸前整備

クルーは、テイクオフに機体を運搬・セットした後で離陸前整備を行うこと

チェックリスト

設置位置のチェック

外観の確認および点検（ZOOM 及び T-4 双方とも）

ラインチェック（絡み等がないか）

カラビナ等の装備

搭乗サポート

クルーは、パイロットの搭乗をサポートし装備装着を行うこと

チェックリスト

ハーネス装着（レッグベルト、チェストベルト）

ヘルメット及び酸素マスクの装着（ホースのハーネスへの装着）

イヤホン及びサングラスの確認

無線チェック（パイロットが確実に聞こえているかを確認）

風向・風速チェック

パイロットの離陸意思確認

航行灯点灯

準備完了をハンドシグナルで合図する

搭乗サポート後、機付長はパートナーにチェックリストを読み上げてもらいながら確認すること

離陸サポート

クルーは、パイロットの離陸をサポートすること

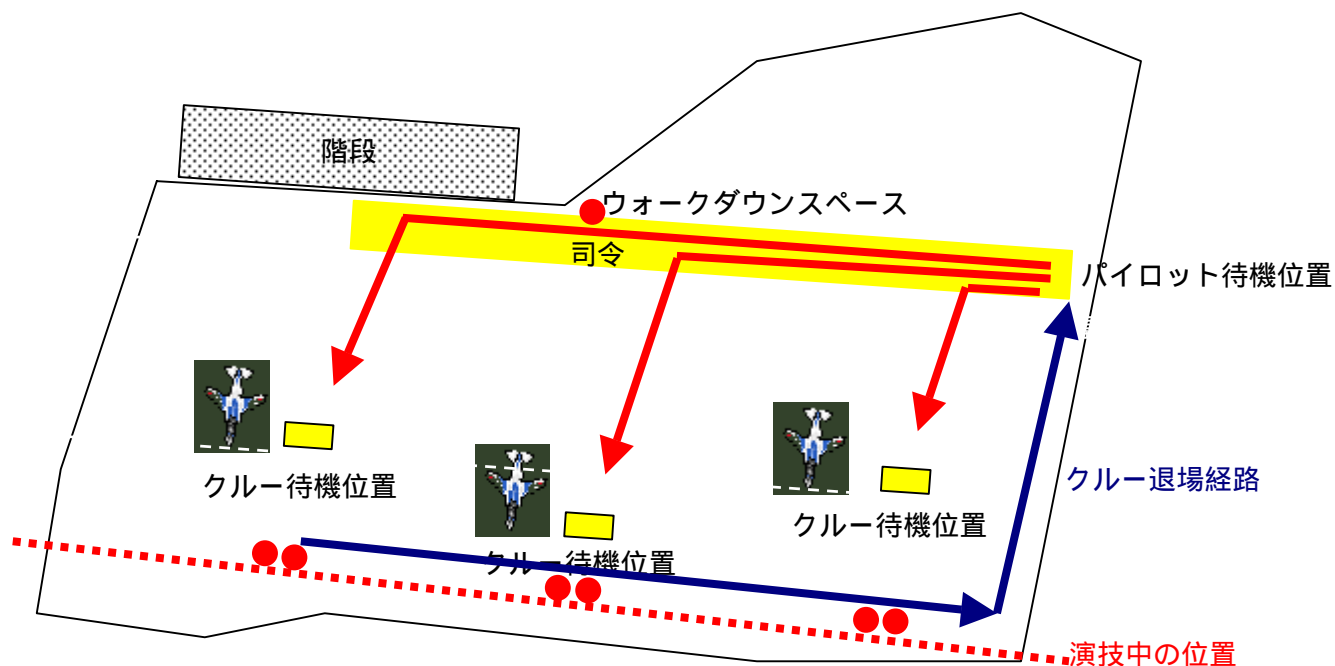
Tateyama Impulse 演技シナリオ

演技内容	ナレーション及び台詞	SE (音響・BGM)
演技開始前整列	N「これより、立山インパルス <small>の</small> 展示飛行を行います」	なし
ウォークダウン	<p>N「3名のパイロットが、機体へ向けて行進します。訓練されたクルー達の動作に、ぜひご注目下さい」</p> <p>このナレーションの後、パイロットは「前へ進め」の号令を合図に行進を開始する</p> <p>N「それでは、立山インパルス<small>の</small>精鋭パイロットをご紹介します。1番機、飛行隊長、塚本隆暢、パラグライダー飛行歴 年、飛行時間 時間、タックネームは“もっち”。2番機、小林一郎、パラグライダー飛行歴 年、飛行時間 時間、タックネームは“イチロー”。3番機、早風慎也、パラグライダー飛行歴 年、飛行時間 時間、タックネームは“KAZE”。」</p> <p>ウォークダウン中は、地上クルー「整列休め」の体制。パイロットが進入してきたら機付長が「気をつけ！」の号令。パイロットが前で停止したら機付長の「敬礼！」の合図で敬礼。パイロットが敬礼をやめたら「直れ！」の合図で敬礼解除。パイロットと握手を交わす。その後はパイロットの「気をつけ！休め！」の合図に従う。「休め！」の合図後は、パイロットが機体に搭乗するのをサポートする。</p> <p>N「ここで、演技課目についてご説明しましょう。まず、最初の演技は“デルタテイクオフ”。3機の機体がデルタ隊形を維持したまま同時に離陸します。基本的な演技ですが、高い技術と信頼関係がなければ出来ない課目です。離陸</p>	バックドラフト特別編集版

	<p>した 3 機はデルタ隊形を維持したままテイクオフ前方でスモークを展開します。その後、両翼の 2 番機 3 番機が 1 番機と並列に編隊を遷移、左 90 度ターンを 2 回連続で行う “ 2 ポイントターン ”。3 人のパイロットの息が合わなければならない課目です。そして最後の課目は “ アウトブレイクターン ”。これは、2 番機、3 番機がそれぞれ左右 180 度ターンで散開し、最後に 1 番機がターン、着陸場へ向かいます。」</p> <p>離陸準備が完了したら、クルーはハンドシグナルで合図を送る。3 機全ての準備が完了したら離陸のアナウンスを行う</p> <p>N 「離陸準備が完了したようです。」</p>	
デルタテイクオフ	<p>N 「Tateyama Impulse. Wind*** at **knots. Runway27 Cleared for take off. go!」</p> <p>テイクオフ後、クルーは「休め！」の体形で演技を見る</p>	デンジャーゾーン
スモーク	<p>N 「さあ、デルタテイクオフ見事に成功。これより 3 機はデルタ隊形を維持したまま、スモークを展開します。スモーク、レディー、ナウ！！」</p>	
2 ポイントターン	<p>N 「2 番機、3 番機が 1 番機の両側へ編隊を遷移し、2 ポイントターンに移ります。2 ポイントターン、レディー、ナウ！…レディー、ナウ！！」</p>	
アウトブレイクターン	<p>N 「2 ポイントターンも見事に成功。そして最後の演技はアウトブレイクターン。2 番機は右へ、3 番機は左へ 180 度ターンを行い散開します。アウトブレイクターン、レディー、ナウ！！」</p>	
課目終了	<p>N 「さあ、以上で演技が終了し、3 機はランディング上空へと向かいます。3 名のパイロットに盛大な拍手をお願いいたします」</p>	Air Force One

クルー退場	<p>N「クルー、退場」</p> <p>司令「気をつけ！左向け…左！前へ進め！！」</p> <p>クルーはそれぞれ行進しながらパイロット待機位置まで移動、整列して待機</p>	
演技終了	<p>司令「敬礼！」</p> <p>N「以上で、立山インパルスの展示飛行を終了します。ご注目ありがとうございました」</p>	

ポジション



演技上の注意！！

「気をつけ！」の手はグーです。

待機中の姿勢は「整列休め」です。

演技中の姿勢は「休め」または「整列休め」です（ブリーフィングで決定）

掛け声は大きな声で、やや大げさにして下さい。（機付長）

行進は左足からです。腕は軽く振ります。（特にパイロット）

真面目に真顔で演技しましょう。

帽子は深すぎず、浅すぎずに被ります。

敬礼は、帽子のツバと右手中指が触れるか触れないか位の位置。腕は水平に。

敬礼時お辞儀をしないこと。（特にパイロット）

敬礼から直る場合、腕は真下に動かし同時に手をグーに戻して「気をつけ」の姿勢。

時間を言う時に、12時30分と言わずに「ヒトフタサンマル」などと言うとそれっぽい。

1 ヒト 2 フタ 3 サン 4 ヨン 5 ゴ 6 ロク 7 ナナ 8 ハチ 9 キュウ 0 マル

例: 「次回集合は山頂広場にマルキュウサンマル」